



青少年赤十字

第13号
2007.12.

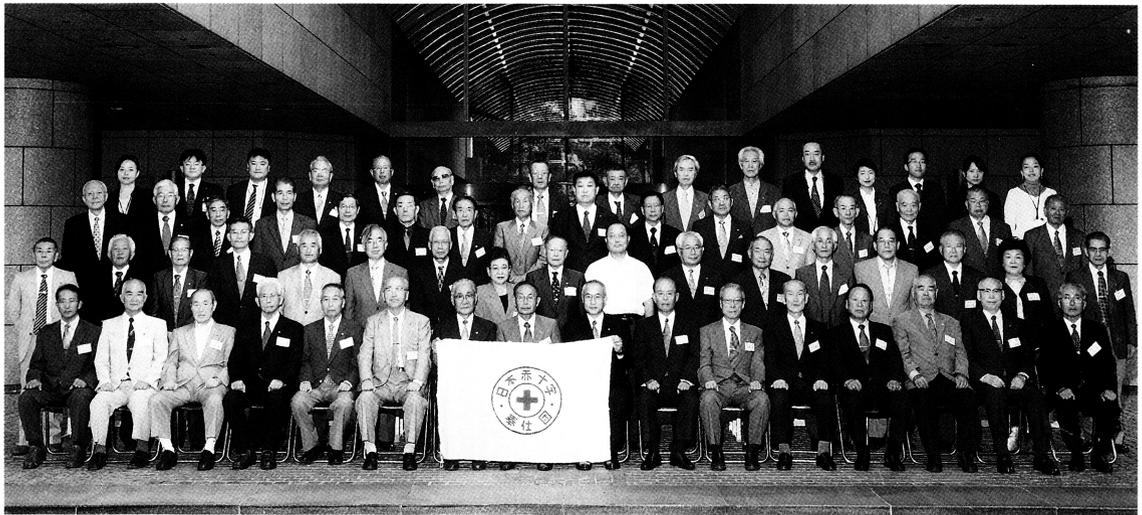
賛助ひろしま

青少年赤十字賛助奉仕団信条

- 1. 青少年赤十字の充実発展に協力奉仕する。
- 1. 赤十字思想の普及啓発に努め、平和な社会の実現に寄与する。
- 1. 志を同じくする人々と手を取りあい、研鑽に努める。

発行 広島県青少年赤十字賛助奉仕団
事務局 日本赤十字社広島県支部

〒730-0052 広島市中区千田町2-5-64
TEL (082) 545-5011



平成十九年度青少年
赤十字賛助奉仕団総会（報告）

広島県委員長 塚本 晃史

平成十九年度青少年赤十字全国賛助奉仕団総会が、十月四日・五日全国から四七都道府県委員長、副委員長、支部囑託、日赤関係者等六十余名が参集し、日赤本社を会場として開催された。その概要を報告する。

一・開会式

① 山口正義新会長 挨拶

一、JRC指導者協議会との連携と加入促進のため『一歩前へ！』

二、賛助奉仕団への移行が順調に進み、岐阜・福岡県の加入により

四七全都道府県が加入した。

② 光永正次前会長 祝辞

③ 本社組織推進部長勝村秀樹 挨拶

一、先般の中越地震の際に全国より募金・ボランティア活動のお礼

二、加盟校、メンバー数、指導者、

それぞれ微増している。

青少年・ボランティア課紹介

二・議事

一、十八年度事業、会計、監査報告

二、十九年度事業計画、予算

三、「いとすぎ十三号」

三、第五ブロック会
六ブロック鹿児島県担当

- 一、五ブロックでは、十四年度中に徳島、香川、高知、愛媛が移行済み、十五年に、広島、岡山、山口、鳥取も順次移行、鳥根も今年移行、全県が加盟した。
- 二、来年度のブロック会は六月鳥根県出雲市にて開催。
- 三、賛助奉仕団の今後の活動について。

○地域、他の奉仕団との連携

○JRCへの加盟促進支援

○JRC活動の指導・支援

○高齢化への対応

○支部・教育委員会との連携

四、全体会

一、ブロック会報告

二、鹿児島県よりいとすぎ十三号の原稿依頼があった。

三、AED〔自動体外式除細動器〕を使用した救急法の説明・実演

グループでAEDを使用して学習

四、全体討論

五、閉会式

五、閉会式

平成十九年度中国・四国青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会・研修会に参加して

大木 昭

去る六月二十七、二十八日に高知市、高知会館に塚本会長、住吉 上田 射場 大木の六人が二台の乗用車に分乗して、しまなみ海道を走り四国山地を横断して参加した。

研修①講演

「青少年赤十字賛助奉仕団に期待すること」

青少年・ボランティア課長

畑 厚彦氏

メモから

*青少年赤十字の課題

・指導者の確保

・加盟促進

・使いやすい教材の整備

*青少年赤十字の支援

・青少年赤十字の導入では実践と具体的なメリットをセットで示す。

・教材作り・プログラム作り人材リソース

・教材作り・プログラム作り人材リソース

・教材作り等の支援

*青少年赤十字賛助奉仕団としてのあり方

・情報の共有 課題の共有

・モチベーションの共有

↓活動の目標

↓グループ化

↓連携・協働

・必要な知識、技術の向上

研修②実践校発表

高知市立大津小学校

いの町立枝川小学校

連絡協議会各県の青少年赤十字賛助奉仕

団の活動報告

研修③高知市内見学

高知城

土佐山之内家家宝資料館



『平成十九年度青少年赤十字広島県大会』報告

光本 吉伯

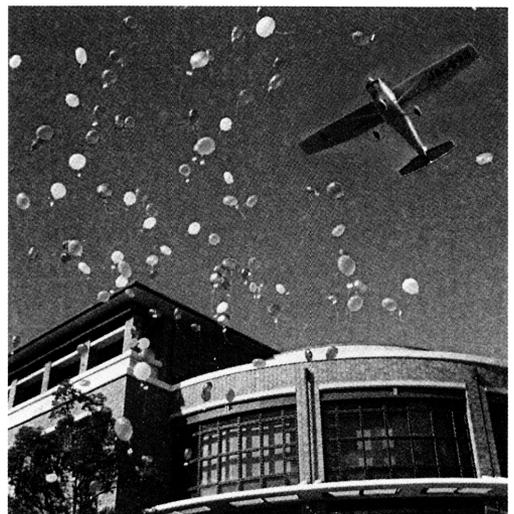
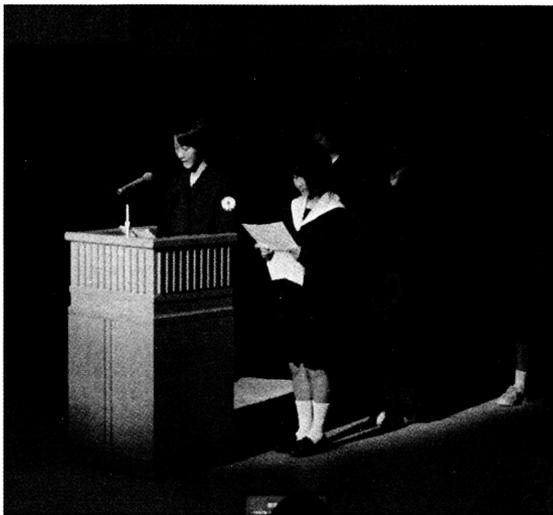
十月二十七日(土) 日赤看護大学において下記の次第で開催され、私たち賛助奉仕団のメンバーも五名参加した。

○開会行事

○韓国派遣メンバーにより、韓国での貴重な体験が映像により報告され、参加者は皆聞き入っていた。

○昼食後、飛行奉仕団六機による見事な編隊飛行が披露され、参加者一同大空を見上げ感動していた。その後全員による紙風船による種子を大空に吹き上げ見事な風景に、子どもたちは大声をあげて喜んでいた。(後日愛媛県大州市より大事に育てますとの報告があった)

○その後体育館で、各幼稚園・保育園・小・中・高校の活動状況の報告がおこなわれ、みな熱心に聞きいていた。なお、この会で支部から支部・各教育委員会・指導者協議会・賛助奉仕団四位一体の努力で、加盟校が全国中位以上に位置する二百九十一校が実現したことの嬉しい報告がなされ、今後のJRC活動に更に明るい希望が見えた。



青少年赤十字への熱い想いを感じて



安芸高田市立美土里小学校校長
指導者協議会会長

川本 和暁

四月から指導者協議会のお世話をする事になった。十月の中旬、県北の小学校を訪れた。青少年赤十字研究指定校の公開研究会へ出席するためだ。車から降りたとき私を呼ぶ声があった。元校長で賛助奉仕団の方である。かつて、トレーニングセンターなどともに活動した仲間であり先輩である。今でもスタッフと

して駆けつける。広島県はこの二年間で加盟校の数が三倍以上増加している。二年前は加盟率全国ワースト二が今は中位にいる。その変化に他の都道府県から驚異の目で注目されている。学習指導要領が改訂される。ゆとり教育が見直され授業増加が図られる。しかし、青少年赤十字は誕生以来その理念は変わっていない。世界共通の価値といわれる人道を基盤にしているためだ。研究会には他にも賛助奉仕団の方々が参加されていた。昔話に花が咲き、今も変わらぬ青少年赤十字への熱い想いと心から愛する姿に胸を打たれた。加盟校の増加には実はこの賛助奉仕団の支えがあった。加盟校のネットワークはどんどん広がっている。学校教育の中で進められる青少年赤十字。その普及と充実は、現場にいる我々の熱意にかかっている。

研究大会を終えて

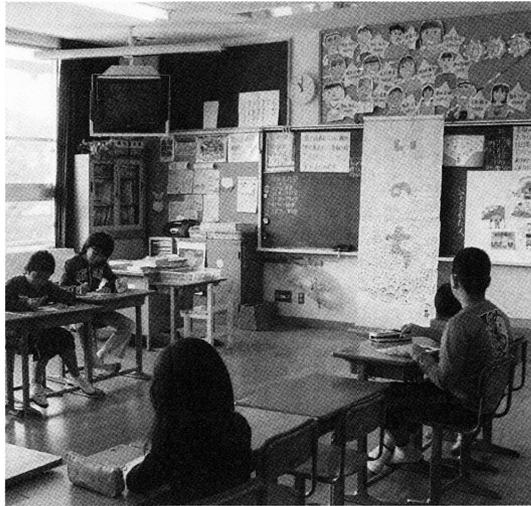
三次市立田幸小学校校長

田村 富夫



平成十八・十九年度広島県青少年赤十

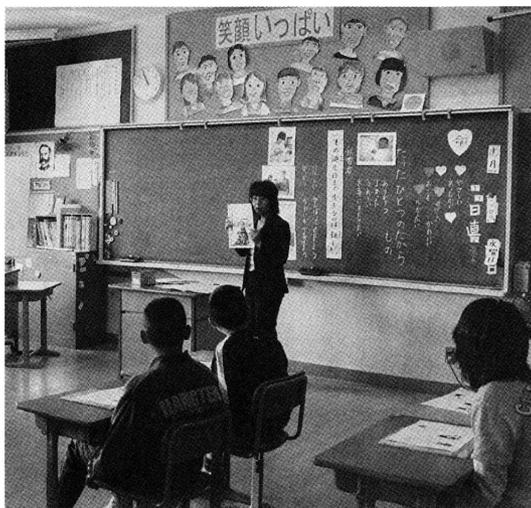
字研究指定校（二年度）として公開研究会（十月二十四日）を終えました。平成十七年二月に加盟して、二年九ヶ月の歩みを経てのことでした。



「昨年の研究会紀要にこう記しています。『今年度 “新しい伝統と校風の確立” が要請されています。そのことは特色ある学校づくりをめざして、学校の自主性・自立性の確立”を担保されたのだといえます。本校はその活路を道徳教育の三年の歩みを指針として、ひらいていくものと考えています。幸いにして、本年度青少年赤十字研究校指定をうけて、その態度目標とする “気づき、考え、実行す

る”ことを教育活動の基にすえて歩み始めています。このことは、道徳教育研究の研鑽をさらに力あるものにしてくれるものと考えております。』

今年度、さらに平成十九・二十年度文部科学省「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」推進研究校「命を大切にすることをはぐくむ教育の推進に関する研究」（二年度）指定をうけて、本校五年間の道徳教育の歩みを括るものとして開催しました。



赤十字のめざすものに重ねて、研究主題を「やさしさと思いやりの心を引き出し、命と向き合う道徳教育の創造」子ども

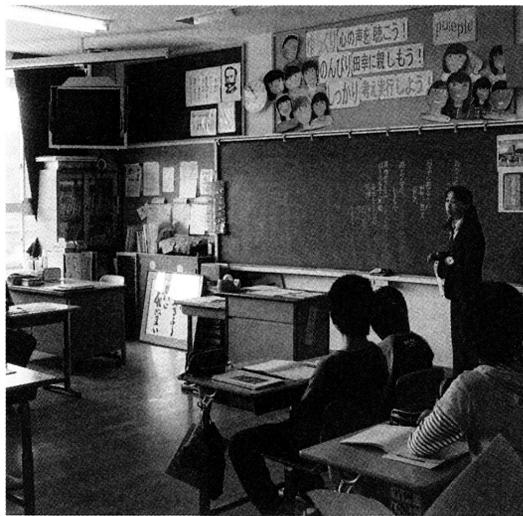
もが引き込まれ、記憶に残る道德の時間の工夫」とし、真に迫るものでなければならぬと考えました。

そして、そのために道德教育を本物にするための大切な基盤的資質を養うものとして、青少年赤十字活動とJRC活動を通して「注意深く生活」を見つめ、「気づき、考え、実行する」力の実践化を据えました。



青少年赤十字活動がめざす先見の重視（注意深い生活態度）、自分の利益を求めない自発的な活動（VS活動）による問題解決、指示のない生活、そして人道の四つの敵（利己心、無関心、認識不足、

想像力の欠如）の克服をめざす活動を願いました。「道德教育と青少年赤十字」構想図、「命の尊さを自覚させる視点」「育みたい生命観「いのち」「命のとらえ」と道德の時間の構想」などを作成し臨みました。



本校での青少年赤十字活動の取り組みは日も浅く、ご期待に添えうるものになってはおりませんが、何とかその責めを果たさせていただくことができました。私たちの苦闘は、児童たちの学びに生きてくるものと願っております。

終わりにりましたが、ご指導を賜りました日本赤十字社広島支部事務局次

長・横山泉、同組織振興課長・小野裕、同組織振興課振興係長・角田敦彦、同青少年赤十字嘱託推進員・富永安保の各先生方には深甚なるお礼を申しあげます。

呉市立田原小学校教育研究会

射場 利久男

去る十一月三十日（金）呉市立田原小学校（青少年赤十字指定校）において「いのちのきらめきを育む教育を求めて」の主題で「心を培う（道德「生命尊重」を中心として）」の公開授業発表がありました。

田原小の教育活動は青少年赤十字（JRC）の活動理念に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるように日常生活の中での実践活動を通じて、人の生命と健康を大切にし地域社会、国家、世界のために奉仕し、世界の人々との国際理解・親善の心を育成することである。

昭和三十八年より青少年赤十字（JRC）に加盟しJRC委員会活動やVS（ボランティアサービス）朝会で活動をしてきている。

赤十字活動の「やさしさ・思いやり」の心を育てることを基本に、「自他の生命・健康」と「人を大切に（人権尊重）」



する心」を養い、自立・自己制御力・責任感のある子どもを育て、豊かな感性や道徳心を育み、友情や社会性を育てる手助けをする活動で人権教育の理念と重なり合うところが大きい。JRCの実践態度目標である「気づき、考え、実行する」は、自分と他者の人権擁護を実践しようとする意識、意欲や態度を実際の行為と結びつける実践力を育成するのに大きな推進力になると考え、道徳の学習の時間に自他の生命を尊重する学びを展開するにあたり特別活動（JRC）の手法を生かしている。

「あと百二十日で休校」これが三十八年間、青少年赤十字活動の灯をかかげてきた、庄原市立三河内小学校の今日の姿である。今日は最後の「子どもフェスティバル」。

青木勇先生が育てられた「あすなる活動」の畑で作った野菜で料理を作り、地域の方々をもてなし、学習発表をみてもらおう。この催しにお招きをいただき参加した。



青少年赤十字の灯よ永遠に

河戸 靖子

会員だより

呉市音戸町の西部に位置し山を背に目前にはカキ養殖の筏が浮かぶ瀬戸の海を眺める風光明媚な自然環境の中、過疎地、少子高齢化による人口減少が進み、少数の複式学級であるが学習意欲に富み、活発な授業態度はすばらしいものを感じました。



体育館には田中光枝先生が提唱された、JRC活動の「誓いの言葉、デュナンの画像、空は世界に」、の歌詞等が代々の卒業生の記念作品となっており、今日の子どもの活動を見守っている。会場の方々も涙、涙で子どもたちの演技に拍手を送ってくださる。

私が俳句と俳画の指導ボランティアとして五年間毎月訪問させていただいたのも終わりに近づいた。私の訪問の目的はもちろん国語力、表現力、感性の豊かさを願っての事が第一義ではあったが、さらに、俳句作品を青少年赤十字活動の一

助となるよう校長先生におすすめて、受け入れていただいた。即ち、俳画カレンダーを作り地域の家へ配る。また福祉弁当の表紙にも毎月の子どもの俳画を活用していただく。社会福祉協議会のご協力により五年間、子どもたちは自分の俳画に彩色を施し、お弁当を彩ってきた。おかげで地域の方の子どもたちへの暖かい目も常に注がれ続けてきた。今日も表紙に感謝された方が大きいペットボトルに一円玉募金を詰めて持参して下さったり、お手紙を届けたりされた。

ご縁で先月の国語研究会に講演をさせていただいた。演題は「表現力を豊かに俳句作りを通して」私の結論は、三河内の子どもは国語力、表現力を育てたのは、豊かな体験、即ち青少年赤十字活動であり、地域の方の助けがあつたからこそであるとした。

そこに毎年の全国大会、県民文化祭の入賞作品が生まれた。

猪の作った道を祖母見つめ

コンバイン稲刈りまだかと待っている

子どもたちの胸に青少年赤十字の灯が燃え続けることをいのる。

青少年赤十字と私



広島市立砂谷中学校校長
山中 章敬

昭和四十八年に府中中学校に新任で赴任したときに、赤十字委員会を担当させられたことから、青少年赤十字にかかわらせていただいております。青少年赤十字を知ったことで、活動や取り組みを生徒とともに行ってきました。いろいろな活動や取り組みの経験は、次への活動のエネルギーになり、ますます青少年赤十字のとりこになっていく自分がありました。

赴任した年に、大和町の白竜湖ほとりの県トレーニングセンターで行われた指導者トレセンに参加し、引き続き中学校トレセンに当時国泰寺中学校の井上先生のホームルームのサブティーチャーとして、いわゆる見習いの形で参加しました。当時の指導者は青少年赤十字のもっとも困難な時代を乗り越えられた方ばかりで強烈な個性や情熱を持って指導されました。中でも思い出されるのは、山崎校長先生、小本先生、井上先生、瀬越先

生、渡辺先生、住野先生、樽谷先生…、県支部からは福原さん、石田さん…など錚々たるメンバーでした。赤十字のいう人道「赤十字は、苦痛と死に對して闘う。また、あらゆる場合において人を人として取り扱うことを要求する」、態度目標「気づき、考え、行動する」や「自分の号令者は自分である」、「五分前行動」などJRCの基本的なことを徹底的に指導していただきました。そこで学んだ（洗脳された）ことで県トレセンには毎年参加するようになりました。

その県トレセン参加が原点となり、人道をバックボーンとして「気づき、考え、行動できる」生徒の育成を目標に頑張るようになりました。国泰寺中学校や五日市中学校などのJRC活動が活発な学校に追いつき、追い越すことを目標に、いろいろな活動を生徒とともに実践しました。あいさつ運動、募金活動、五分前行動、一円玉募金、老人ホーム訪問、加盟校とのアルバム交換、国際交流、清掃ボランティアなどさまざまな活動を行いました。活動を実践していく中で生徒が「気づき、考え、行動できる」ことが出来るように、仕組んだり生徒の心を揺さぶったりしました。そのような取り組みにより、身の回りのことはもとより国際

的な出来事に感心を持つ視野の広い優しい生徒育成がめざせるようになりました。JRCに取り組んだことにより、生徒会を活性化させ活動など良い行いをするこゝとで、学校全体に刺激を与え、一味違った学校づくり、クラス作りができたように思います。

赤十字の出会いと教員生活の始まりが重なったことは、私にとって本当に良かったと思います。赤十字と接点がいつも身近にあったことで、人道的な活動に生徒とともに参加できたことが自分を成長させています。出会いから三十数年たった今も、赤十字の人道をバックボーンに「気づき、考え、行動する」生徒の育成を目標として教育を続けています。県内中学校のJRC加盟校が当時の六校から急増し五十二校になりました。加盟校が一気に増えたことを喜びとするとともに不安もあります。JRCは熱意のある指導者でもついています。その指導者の育成が充分であるか不安です。学校教育にJRCを大いに活用しJRCの良さを理解できる指導者が必要です。私もあと三年余りになった教員生活とJRC指導者としての集大成をするとともに指導者の育成に力を注ぎたいと思っています。これからもご指導・ご鞭撻をお願いします。

森田 寛先生を訪ねて

塚本 晃史

十一月十四日久しぶりに森田 寛先生を八本松町「新生園」へお見舞に行つた。顔色も良く、話される内容も流ちょうで、特にJRC加盟校が二百九十一校に、一時より三倍増したことを大変喜んでいただいた。今後の会の活性化を心より願っておられた。



JRC加盟校の促進について

日赤十字社広島県支部
組織振興課長

小野 裕



本県における青少年赤十字加盟校は、平成十七年度までの十年の間九十校弱で推移し、加盟率が二桁を上回ることなく、全国的にも下位に甘んじるといふ状況が続いておりました。

県支部としては、ひとつでも多くの学校にJRCを取り入れていただき、将来を担う子どもたちのやさしさやおもいやりの心を育む教育の推進・拡充につながることを願い、昨年四月から様々な加盟促進活動を展開してまいりました。

具体的には、念願であった県教育委員会から県内設置学校への加盟推奨文発信をはじめ、県内各地（教育事務所、各市町教育委員会）で開催された校長会でのJRC説明会などを実施した結果、平成十九年十一月末現在、加盟校は二百九十一校に増加、加盟率は全国平均値に達したものである。

これは県支部の努力のみで成しえたものでなく、賛助奉仕団、JRC指導者協

議会、教育委員会等関係機関の皆様によるご支援の賜と存じます。

今後の取り組みとしては引き続き加盟促進に注力するとともに、活動内容の拡充に努めてまいり所存でございますので、賛助奉仕団の皆様におかれましては、これまで以上のお力添えを賜りますようお願いいたします。

青少年赤十字加盟校一覧(広島県)

(平成十九年十二月二十日現在)

幼稚園・保育所(園) [40園(所)]

広島市

栄光幼稚園・広島光明学園・広島和光園
保育所・フレージャー幼稚園・うじな幼稚園
園・似島保育園・さくら保育所・広島市
立山本幼稚園・保育所まこと学園・広島
市三田保育園・安佐幼稚園・矢野中央保
育園・河内保育園

呉市

呉第一保育園・須川保育所

三原市

和気保育所

尾道市

尾道幼稚園

三次市

みゆき保育園

庄原市

新市保育所

江田島市

大君保育園・飛渡瀬保育園・切串保育園・
小用保育園・江田島保育園・宮ノ原保
育園・江南保育園・柿浦保育園・大古保
育園・中町保育園・鹿川保育園・高田保
育園・三高保育園

安芸郡

府中ひかり保育園・第二府中ひかり保
育園・初神保育園・保育所ひかり学園・坂
保育所・横浜保育所・小屋浦保育所

山県郡

上殿幼稚園

小学校 [146校]

広島市

白島・袋町・吉島東・吉島・江波・安田・
東浄・中山・牛田新町・荒神町・大州・
段原・仁保・似島・大芝・三篠・山田・
古田・草津・鈴が峰・井口・井口台・古
田・八木・中筋・古市・毘沙門台・安東・
安・安北・安西・山本・原南・戸山・伴
東・伴南・東野・井原・高南・三田・深
川・落合・口田東・鈴張・小河内・久地・
久地南・倉掛・瀬野・矢野南・石内・八
幡・八幡東・五日市観音・美鈴が丘・五
日市中央・五日市・五日市東・五日市南・
湯来東

呉市

小坪・大入・警固屋・坪内・宮原・辰川・
天応・昭和東・昭和南・下蒲刈・音戸・

高須・田原・早瀬・波多見・尾立・野路
東

三原市

木原・中之町・八幡・沼田東・小泉・北
方・神田東・大草・和木・榎梨・広島大
学付属三原

尾道市

南・瀬戸田

福山市

手城・赤坂・高島・鞆・多治米・日吉台・
川口東・湯田・道上

府中市

上下南

三次市

青河・田幸・八幡・八幡小徳市分校

庄原市

本・上谷・田川・水後・三河内

大竹市

玖波・穂仁原・木野・栗谷

東広島市

西志和・造賀・板城西・乃美尾・中黒瀬

廿日市市

津田・大野東

安芸高田市

可愛・郷野

江田島市

切串・江田島・高田・中町・鹿川・三高・
大古・大君・柿浦・飛渡瀬

安芸郡

熊野第一・熊野第二・熊野第三・熊野第

四・坂・横浜・小屋浦
山県郡
 上殿・寺領・雲月・河迫
世羅郡
 大田・津久志
神石郡
 来見

中学校【53校】

広島市
 国泰寺・吉島・江波・修道・二葉・楠那・
 似島・似島学園・広島大学附属東雲・中
 広・観音・井口台・祇園・阿戸・五日市・
 湯来・砂谷・ノートルダム清心
呉市
 和庄・吉浦・郷原・安浦
三原市
 第三・第四・第五・幸崎・宮浦
福山市
 福山・英数学館・福山暁の星女子
大竹市
 小方・大竹
廿日市市
 阿品台・四季が丘・大野・宮島
安芸高田市
 八千代・甲田
江田島市
 切串・江田島・能美・三高・大柿
安芸郡
 府中・海田西・海田・熊野・熊野東・坂

山県郡
 筒賀・芸北・広島新庄
神石郡
 神石

高等学校【46校】

広島市
 舟入・広島商業・修道・広島工業・広島
 井口・山陽・祇園北・安西・白木・高陽
 東・安芸南・美鈴が丘・広島工業大学附
 属広島・ノートルダム清心
呉市
 呉工業・呉商業・広・呉三津田・呉昭和・
 音戸・清水ヶ丘・呉港
竹原市
 忠海
尾道市
 御調
福山市
 福山・福山誠之館・英数学館・福山暁の
 星女子
庄原市
 庄原実業
東広島市
 西条農業・黒瀬・河内・豊田
廿日市市
 廿日市・廿日市西・宮島工業
江田島市
 江田島・大柿
安芸郡

安芸府中・海田・広島国際学院・熊野・
 広島女子商学園
山県郡
 加計高芸北分校・広島新庄
世羅郡
 世羅

特別支援学校【6校】

広島市
 市立広島・県立広島南・県立広島・県立
 広島北
三原市
 県立三原
尾道市
 県立尾道

【計二百九十一校】

編集後記

「賛助ひろしま」第十三号をお届けし
 ます。編集、記事等についてのご意見、
 お気付きがありましたら、編集者の方へ
 お知らせくださいれば幸いです。

この冬はインフルエンザの流行が非常
 に懸念させているようです。どうか健康
 安全には十分に留意され、よい新年をお
 迎えられますようお祈りします。